

# まつ かわ どの 松 河 戸 遺 跡

## 調査の経過

松河戸遺跡は、春日井市の南東、庄内川と地藏川に挟まれた沖積地に立地する。松河戸町一帯は近年に至るまで条里制遺構が広範囲に展開しており、名古屋市北区の庄内川流域より大規模に展開する条里制遺構の一部として捉えられてきた。醍醐寺文書の安食荘あじきのしょうの記載とこれらの条里制遺構が関連づけられ、文献史学・歴史地理学によって、「古代安食荘」比定地とされてきた地域でもある。このことより、条里制遺構の形成過程の究明を調査の重要課題の一つとし、昭和62年度より環状2号線建設に伴う発掘調査として実施されてきた。

昭和62年度の調査の結果、現水田下に複数の水田面が存在することをセクションにより確認し、最下層の水田は15世紀代にさかのぼり得ることが明らかとなった。また、昭和14年地籍図では水田化されている場所でも、最下層の水田では、水田化されていない微高地が存在することが明らかとなった。この微高地では、縄文～古墳時代・中世の各時代の遺構が検出され、微高地の利用・開発といった新たな課題が与えられるに至った。なお、微高地の縁辺部には谷状の落ち込みがあり、<sup>14</sup>C年代測定で3,120±120y. B. P. の年代を示す層火山灰が検出された。この点で、自然科学的にも、微高地・浅谷の成因を解明するうえで興味深い遺跡となった。

## 調査の概要

本年度は、9調査区(63A～L区)を設定して実施した。63A・B区は近世の遺構、63C～L区は条里地割に基づく中・近世の水田が検出された。(後藤浩一)



第1図 松河戸遺跡発掘調査区位置図(1/6000)

**A区** 2条の溝と数基の土坑を検出した。S D01は「L」字状に曲がり西壁断面で幅3m・深さ80cmをはかる。調査区断面より、南部が高く、溝のコーナー付近の埋土内（有機質土層中）より昆虫が見つかった。この分析結果と地形から、S D01は調査区南隅から途中屈曲して、西へ向かってゆるやかな水流があったことが想定される。遺物は内耳鍋・土師器・銅貨・キセル雁首<sup>がんくび</sup>などが出土し、江戸時代初頭頃と思われる。溝の性格については、調査区南100mに白山神社があり、時代不詳の近世の村絵図にも載っていることから、あるいはこの神社との関連も考えられる。S D02は、S D01の東で平行して検出された。幅50cm・深さ20cm程である。遺物はS D01と同じく土師器片やキセル雁首などが出土している。

**B区** 井戸・溝・土坑・旧河道などを検出した。調査区南端で井戸を2基（S E01・S E02）検出した。ともに井戸枠は石組であり、平面形態は井戸枠が掘形の一方に片寄っている。S E01は東側半分のみ石組が残存しており、西側半分では石組がなく素掘りのままの状態であった。また、検出面より下へ1m程井戸枠の石がなく、S E02と近接して構築されていることから、S E02を作るために石を抜いたことも考えられる。埋土内の遺物は少ないが、A区S D01と近い時期と思われる。調査区中央南寄り旧河道（N R01）を検出した。埋土がかなり荒い粗砂

であることなどから恒常的に流れていたのではなく、東方100m離れた所にある庄内川の氾濫によって一時的に堆積したものと考えられる。また、調査区断面より、かなり上部から切りこんでいることがうかがえ、比較的新しい時期（少なくとも近世）

まで庄内川の氾濫によって河道となっていたものと想定される。河道内より縄文土器・弥生土器・須恵器などが出土している。

（野口哲也）



A区 全景（北から）



B区 南半（東から）

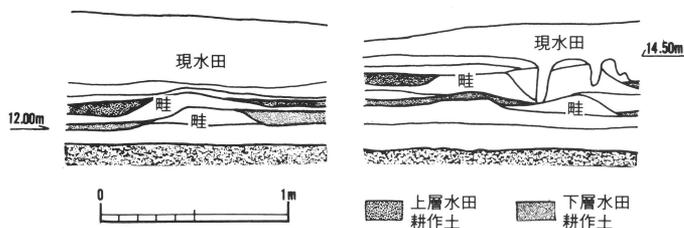
C～L区 先述した昭和62年度の調査成果を踏まえ、本年度では次の2点を課題として発掘調査を実施した。①現水田下の各々の水田の存続時期をおさえること。②本年度の調査区周辺は条里制遺構が残っており、現水田の畦畔と比較対応させながら条里地割の変遷をたどること。このため、現水田下の水田跡を層位的におさえ、順次掘り下げて調査を行うことにした。

層位・時期：現水田下に2面の水田が確認された(第2図)。以下、上層水田、下層水田と区別して説明する。下層水田の遺構検出面の標高は、G区で約12m、K区で約14mと「東高西低」を示す。出土遺物により、下層水田の時期は15世紀後半～17世紀初頭、上層水田は17世紀中葉～19世紀中葉の年代が考えられる。

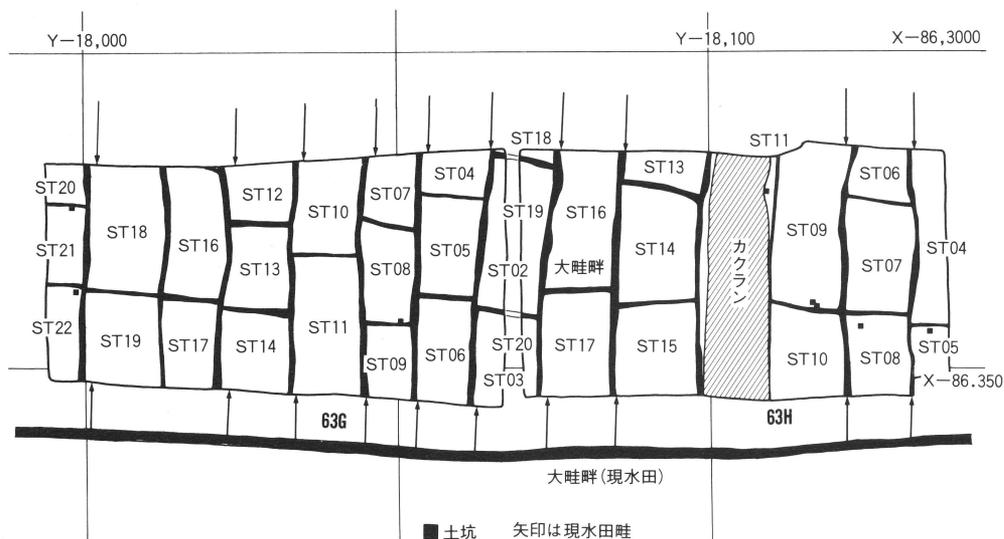
条里地割：調査区周辺は、ほぼ一町(約109m)四方の方格地割の水田が展開する(第1・4図)。D・E・F区東半とG・H・L区では南北方向の長地型の地割、D・E・F区西半とC・I・J・K区は東西方向の長地型の地割を示している。

次に、現水田の地割と下層水田の地割を比較する(第3・4図)。両者には若干のズレはあるものの、基本的な差異は認められない。この点は、上層水田と下層水田の地割にも認められ、下層水田の地割

は現代に至るまで基本的に受け継がられていたことが確認された。なお、条里地割を区画する畦畔が上層水田と下層水田で



第2図 G・K区東西セクション(左G区, 右K区)



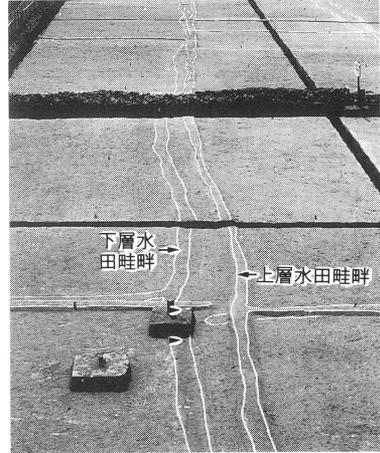
第3図 G・H区遺構配置図・下層水田(1/1200)

は大きく異なる箇所が一部認められた。

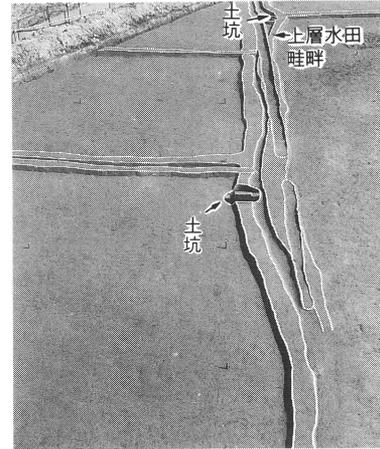
溝：J区東端で大畦畔（坪界）に沿って南北方向の溝を検出した。調査により2面確認され、上層・下層の水田に伴なう用水路と考えられる。上層溝は幅2.65m・深さ40cmで、下層溝は幅1.85m、深さ20cmを測る。溝の比高差は北方向に低く水は北流したものと考えられる。なおH区において大畦畔を検出したが、溝は確認されなかった。溝を伴わない大畦畔は、他の畦畔と規模において格差は認められない。この点は、現水田においても同じである。

次に、参考のため、調査区周辺の現水田に伴なう水路系統を説明しておく（第4図）。G・H・J区南の大畦畔に沿う用水路は西流し、62A～D区で検出された坪界の溝を流れ、最終的には地藏川へ合流させたものと考えられる。南北方向では、C・J区西の用水路は北流、L区西の用水路は南流する。L区西の用水路は、現在では排水だけの機能しか有していない。

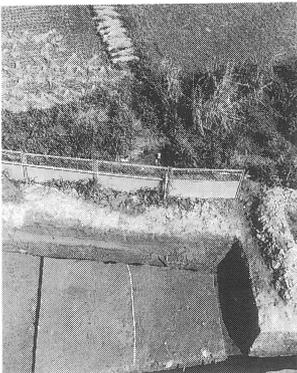
土坑：C・G～L区にかけて28基検出された。いずれも長さ1m前後の小型土坑で、次の共通した特長を有する。①畦畔を掘削ないしは近接して築かれる。軸方向は畦畔と同一。②埋土はブロック状の粘質土が充填される。このことは、土坑の機能が失われた段階で、人為的に埋め戻されたことを窺わせる。③遺物は



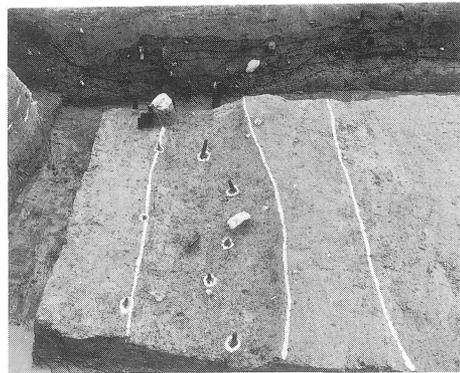
C区南半（東より）畦畔の重複



K区北半（西より）畦畔と土坑



J区東端（南より）上層溝



J区東端（北より）下層溝

少量で基本的に無遺物。これらの3つの特長は土田遺跡のそれと類似するが、規模において異なり、土田遺跡で想定されている「墓」とは機能が異なるものと考えられる。①の点で水田と関連のある土坑と推測されるが、具体的な機能は民俗事例などとの比較検討を行って考えていく必要がある。なお、K区では、下層水田に伴う土坑をあたかも避けるように上層水田の畦畔が築かれており、そのことより、ある程度機能を有していた期間があったことが類推される。

#### 微高地の利用と開発—まとめにかえて—

昨年度より注目されてきた微高地は、本年度はL区南半において確認された。地割の乱れにより、第4図のように南北に細長い微高地が推定でき、L区で確認された微高地はその北端にあたる。微高地上より、縄文前期・中世の遺構が検出されている。今回で、地蔵川以東の調査された微高地は6ヶ所を数える。ここでは、昨年度の調査も含め、現水田下に埋没する微高地の歴史を掘り起こしてみたい。

**縄文時代** 前期以降、後期に至るまで断続的に微高地に集落が営まれる。微高地沿辺の浅谷には小川が流れ、湿地にはハンノキや広葉樹が茂っていた(縄文中期)。松河戸遺跡62E・F区では、そのような自然環境を背景として、打製石斧・磨石等の出土により植物性食糧に立脚した生活の一端が窺われる。

**弥生・古墳時代** 弥生時代終末～古墳時代初頭の「古墳出現前後」の時期にかけ、町田遺跡東西両微高地に集落が営まれる。段丘上に立地する「勝川集落の拡散」という画期が認められる時期である。その後、5世紀後半～6世紀前半代の遺構が62A～G区の微高地にかけて認められ、6世紀前半には、鳥居松段丘縁端部に南東山古墳(円墳)、微高地上に勝川大塚古墳(前方後円墳)が築かれる。

**古代** 古代の微高地の利用状況は不明瞭である。ただ、町田遺跡の東微高地東端付近に篠岡窯産の緑釉陶器が若干出土したこと、62A・B区の中央微高地東端部より「加知」と墨書のある須恵器の杯身が出土していること等により、人間が足跡を記したことは確実と思われる。

**中・近世** 微高地周辺の湿地に「計画的な水田」が営まれた時代。中世末の段階には、微高地は水田化されていないが、微高地には農作業に関連したと思われる遺構が存在する。本格的に微高地が開発されるのは近世以降である。寛文年間(1661～1672年)に春日井市域の新田開発は最盛期を向かえ、微高地の開発はその流れに沿ったものと理解される。来年度の発掘区の微高地上に中世の遺構群がかかっていることが試掘で明らかとなっており、中近世の微高地の利用・開発といった側面で大いにその調査が期待される。(後藤浩一)



第4図 現水田と発掘された水田（下層水田）  
矢印は水流の方向（太-用水路、細-水田内）